

33 飯田市松尾：弁天 川原内部にある祠あり。(飯田市下久堅北原：北原土石流1715未満水D591)

「洪水による地形に変化により，島田村（現飯田市松尾地区）と虎岩村・知久平村（現飯田市下久堅虎岩と知久平）との間で境界論争が起っていた。元文3年（1933）の洪水の後，大岡越前守の裁きにより，弁天様が島田村のものとなった。ところが，弁天様は天竜川の東側がおすきとあって虎岩村・知久平村の方ばかり向いていた。怒った島田村の衆が，弁天様を島田村の方へむけたところ，村内で悪い病気が流行ったので東向きに戻した。悪い病気がすぐに治まったので島田村では，社殿の後ろから拝むようになった。また，弁天様はどんな洪水でも流されることはなかったが，36 災害では流されてしまった。現在元のところに祀られている。」



メモ

弁天橋から直下に弁天様がみえるので，そこから撮影できる，この写真は誰かの借り物だから，撮影し直した方が良い。天竜川は基盤が浅いとこまできているので，所々で岩石の露頭がみえる。弁天様の祀られている中之島は，天竜峡花崗岩の露頭であるがミグマタイト（混成岩）が水に洗われて美しく，ところどころにポットホール（亀穴—かめが卵を産むとき掘る穴に似ている—）がみられる（天竜川でながされる固い石が流水で回転して穿たれる現象）。